



# よほろ



舞鶴市立与保呂小学校  
学校だより  
5月号  
令和2年5月7日

## 当たり前の日常に感謝を

新緑の5月 風薫る5月 緑に包まれた清々しい季節を迎え、本来なら心が弾む時期となりました。しかし、過日配信しましたメールや本日持ち帰ります文書の通り、全国では新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、4月21日からの休校措置が5月31日まで延長されることになり、「心弾む」時期がいつ来るのか…と思う毎日です。

先日、インターネット上で22世紀からやって来た「ドラえもん」からのメッセージを見つけました。『きみがおうちにいてくれたから。ちゃんと手を洗ってくれたから。家族を想ってくれたから。ともだちと支え合ってくれたから。やさしい気持ちでいてくれたから。病気の人を助けてくれたから。みんなのために働いてくれたから。未来をあきらめないでいてくれたから。だいじょうぶ。未来は元気だよ。』  
<引用：ドラえもんチャンネル <https://dora-world.com/>>

3月の約1カ月の休校措置の後、4月になって始業式・入学式は規模を縮小しながらも実施でき、新しい学年を新しい担任とともにスタートできたのも束の間、子どもたちにはまた我慢の毎日となっていることと思います。4月20日に休校に入る前に、子どもたちに「今、一人一人が我慢をして家で過ごすことが、一日でも早く元の生活に戻ることに繋がります。今、我慢をしましょう。」と話をしました。ご家庭でも、子どもたちは「友達と遊びたい。」「外で元気に走り回りたい。」と言っているかもしれませんが、「今は我慢」とご指導いただきますよう、お願いいたします。

ただ、休校が長引き、いろいろとストレスを感じている子どももいるかもしれません。何か、ご心配なこと、お困りのことがありましたら、いつでも学校へご連絡ください。

子どもたちは、この休校期間中、関わる人が家族に限られたり、中には昼間一人で過ごしたりする中で、学校へ来て先生や友達と会話することや一緒に過ごす時間の大切さなど、いつもは当たり前と思っていた日常の大切さを改めて感じているのではないのでしょうか。私たち教職員も、子どもの声のしない教室や体育館、グラウンドを眺めながら、そうした日常の大切さをひしひしと感じているところです。この当たり前の日常への感謝を忘れずたいものです。

本校の学校経営テーマ「今日も学校へ来てよかった。明日もまた来たい。」の明日がまた1か月後に延びてしまいましたが、みんなでその日が来るまでがんばりましょう。

保護者の皆様、地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

校長 西井 佳寿美  
教職員 一同

## 18名の元気な1年生が入学しました

4月9日(木)、保護者の皆様にご出席いただき、入学式を挙行了しました。

例年と違って、ご来賓の皆様や在校生の出席はありませんでしたが、担任の先生の呼名に一人一人が元気よく返事をし、入学認定を受けました。

翌日からは小さな体に大きなランリュック・ランドセルを背負い、登校班長、上級生に見守られながら元気に登校しました。

チャイムで区切られた授業時間、給食当番、教室掃除など小学校での生活に慣れ始めたところでの休校となりましたが、休校中も生活リズムを崩さず、また元気に登校してくれるのを楽しみにしています。



## 6月、元気に会いましょう!

本日、自分で立てる『スケジュール表』を持ち帰っています。休校が長引き、1日をどう過ごすか、迷っている子どもたちもいるのではないのでしょうか?『スケジュール表』を子ども自身が楽しんで作成し、毎日の生活の目安になればと考えています。

規則正しい生活を送って、学校再開後、元気に学習に取り組みますよう、ご家庭でのご支援をお願いいたします。

